

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規着工準備箇所）

担当課：道路局国道・防災課
 担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道17号 渋川西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：群馬県渋川市中村 至：群馬県渋川市金井	延長	5 km		

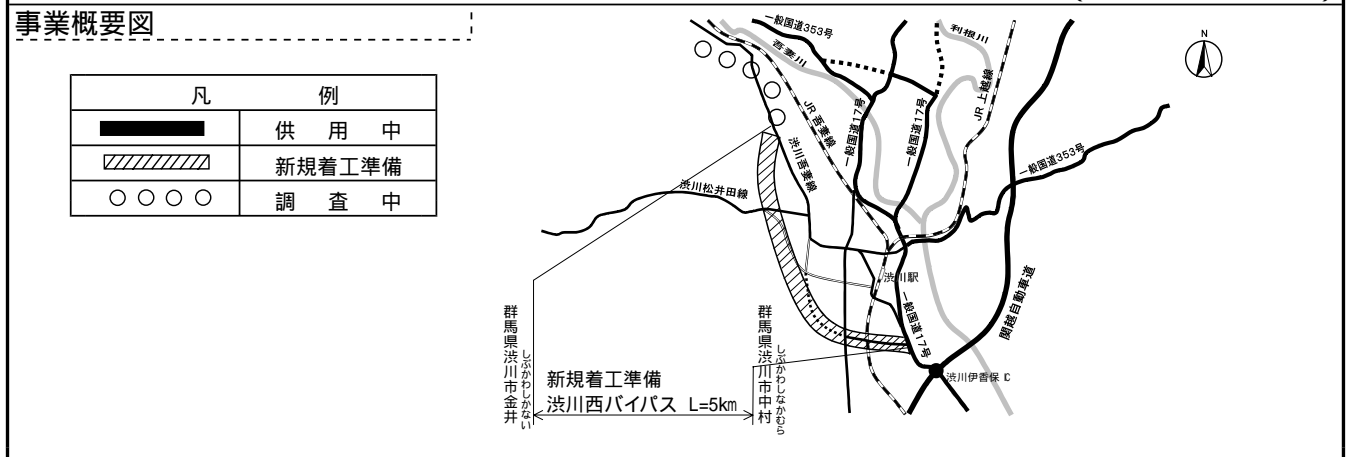
事業概要
 上信自動車は、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保ICと長野県小県郡東部町の上信越自動車道・東部湯の丸ICを結び、吾妻地域を含む群馬県の沼田・渋川地域集積圏と長野県の上田地域集積圏との地域連携を強化するとともに、広域交流を促進する延長約80kmの地域高規格道路である。
 渋川西バイパスは、上信自動車道の一部を構成し、渋川市内の慢性的な交通混雑の解消を図る延長約5kmの道路である。

事業の目的、必要性
 渋川西バイパスは、上信自動車道の一部を構成する道路であり、関越自動車道へのアクセス向上を図り、群馬県の「幹線交通乗り入れ30分構想」を実現させる道路であり、幹線道路ネットワークを形成する上で重要性が高く、吾妻地域の観光客誘致など地域の活性化支援に寄与する道路である。
 また、渋川市内は通過交通と域内交通が混在し、慢性的な交通混雑が生じており、渋川西バイパスの市内の通過交通の排除機能により、交通混雑の緩和、騒音低減、交通事故減少等、交通安全確保、生活環境改善に大きく寄与するものである。

全体事業費	91億円		計画交通量	35,400台/日	
費用対効果分析結果	B/C	3.9	総費用	78億円	
			（事業費：64億円 維持管理費：15億円）	総便益	304億円
				（走行時間短縮便益：251億円 走行費用減少便益：39億円 交通事故減少便益：14億円）	基準年：平成15年

事業の効果等
 ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される）
 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「上信自動車道」の位置づけあり）
 ・個性ある地域の形成（群馬県「幹線交通乗り入れ30分構想」の支援及び主要な観光地である伊香保温泉へのアクセス向上が期待される）
 ・安全な生活環境の確保（事故危険箇所指定されている交差点の安全性の向上が期待される）
 他5項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
 ・渋川市等、通過予定沿線の2市7町6村で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、1～2回/年、早期整備要望あり。
 ・群馬県及び沿線1市5町6村の首長により「上信自動車道整備連絡協議会」が発足（平成15年11月）



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。